

午後の部



第一部『ふれあいスポーツフェスタ』では鉄平選手と永井選手を迎え、塩釜スポーツ少年団及び中学生を対象とした「キャッチボールクラシック」、市内小学四年生〜六年生を対象とした「プロ野球選手とキャッチボール」、市内小学校の代表七名による「ホームラン競争」が行われ、プロ野球選手とのふれあいは大盛り上がり！

永井 怜 選手

今シーズンは応援ありがとうございました。また来シーズン日本一連覇という球団の目標に向かって、もうスタートしています。皆さんの応援がまた必要になります。今後ともよろしくお祈りします。

鉄平 選手

今シーズン応援ありがとうございました。チームは日本一になりました。来年は連覇というだけでなく高い目標を掲げていきます。塩釜からKスタはちょこっとだけ遠いけど、足を運んでくれると、選手の手カラになります。来年も応援よろしくお祈りします。



トークショーでは今シーズンについての感想や来シーズンに向けての抱負の他に質問コーナーが設けられ、野球以外のエピソードも語って頂きました。



第二部の『選手とふれあいトークショー』では、会場にFUNKY MONKEY BABYSの「あとひとつ」が流れると会場からざわめきが…。そして、BGMに合わせて田中将大選手が登場！屋外まで聞こえるほどの大歓声が沸き上がりました。登場した田中選手を見て、驚きの声を上げたり、嬉しさのあまり涙を浮かべる小学生の姿も…

田中 将大 選手

これからも、僕らは自分たちに出来ることをやっていくので、応援してもらえたらと思います。

また、司会者から「塩釜といえばお寿司ですが…」の問いには、「さつき食べました。まさか控え室でお寿司が出るとは思わなかったのでラッキーと思って食べました。」と話され、お寿司で頂けたようです。興奮冷めやらぬ会場で田中選手から子ども達に宛てたメッセージは、「どうやったたらプロ野球選手になれるかというと、プロ野球選手になりたいという気持ちを持ち続けること」

これは、田中選手だけではなく、全てのプロ野球選手に通じるものではないでしょうか？

最後は、「短い時間でしたが、皆さんにリーグ優勝、日本一をこういう形で報告することが出来て嬉しく思います。」と来場したファンへ向けて挨拶を頂きました。

第三部では、田中選手の色紙やサインボールがプレゼントされる「お楽しみ抽選会」が行われました。田中選手がクジを引き当選番号を読み上げられる度に、会場では自分の抽選番号とにらめっこをする姿が見られました。

参加者からは「マー君のサインボールが当たりました！」と興奮した様子でコメントを頂きました。

当選した方も残念ながら生のおプロ野球選手と触れ合えた日は素敵な思い出になった事でしょう。



編集後記

一東北楽天
ゴールテンイグルス
日本一おめでとう
そして、塩釜に来てくれてありがとうございます！
ついでに…
ちなみに、鉄平選手も永井選手も、お寿司を食べに結構、塩釜に遊びに来ていろいろしています！
皆さんもまた、塩釜で会えるかもしれませんね。

PEN☆K

編集・発行
特定非営利活動法人 塩釜市体育協会
塩釜市温水プール(ユープル)内
住所 〒985-0006 宮城県塩釜市字杉の入裏 39-173
電話 022-363-4501 IP電話 050-3387-3552
FAX 022-366-0281
E-MAIL pool@np-shiogama-taikyo.or.jp
URL http://www.npo-shiogama-taikyo.or.jp/